

## 春の歩こう会は馬路温泉へ



岩村健康づくりの会主催で年2回開催される「歩こう会」新緑の鮮やかな馬路路へ

台風一号の影響で雨模様の五月十三日、春の歩こう会に参加しました。南国市保健福祉センターの岩原所長（女性）さんを含めて二十二名中男性は三名で、女性団体ツアーのように車内は女性の声で賑やかでした。今回のメインは馬路温泉・魚梁瀬ダム見学の予定でしたが、あいにくの雨で魚梁瀬ダム

見学は中止となりました。朝の八時半に岩村ふれあいセンターを出発して「ヤ・シイパーク・安芸駅ちばさん市場」に寄り、ショッピングなどをしながら予定より早く馬路温泉に着きました。玄関では村長さんを真似た等身大ほどの手作り人形が迎えてくれました。面長の人形の顔が気になったので店員さんにこの人形は村長さんに似ていまずかと聞きますと、もつとハンサムですよと笑顔で答えてくれました。来客を歓迎する玄関内に村長さんの人形を置き、挨拶文を掲示しているアイデアは、面白い、変わっているというだけでなく、観光馬路村を真剣にアピールしているようで、村長さんのやる気が伝わってきました。

少し早めの昼食を済ませ一時間ほどのフリータイムを利用して温泉に浸かりました。平日のせいかわ湯は島崎館長と二人だけで、ゆったりとした浴室からは安田川や馬路の山が眺められ、貸し切り温泉の気分でした。思ったほど塩素臭さも無く、甘い温

泉の香りがして、肌触りもヌルヌルしてかなり濃い炭酸水素塩温泉の素晴らしさを感じました。が、女性客にはバラ風呂が人気のようです。（女性客のみで開催日は五月八日の母の日、五月十一日、六月二十九日の毎週水曜日、八月、翌年三月迄は毎月一日のようです）

馬路温泉の玄関前で記念撮影をして、近くのゆず工場を見学しました。案内された二階のロビーは受注センターとの間の壁は無く、とてもオープンな感じ

で、ヘッドセットをつけたスタッフが注文を受けていた姿が印象的でした。試験室、研修室、デザイン室などもあり設備も充実しているようで、試行錯誤の末、大量にでるゆずの絞りカスや種子の商品化に成功した説明を受け、技術開発に熱心で環境にやさしい村だと思いました。

機械化された製造ラインに人の姿が少ないので、関係者の人数を質問しました。村の人口千五十人中ゆず工場の従業員は七十五名とのことで思ったより多く、ゆずを栽培する人、加工する人、販売する人など村民一体となつての村起こしを感じました。

「ごつくん馬路村」とパンフレットをお土産にいただき少し遠廻りして、「道の駅田野駅屋」に立ち寄り休憩を兼ねて最後の買い物を終えて馬路につきました。心配した雨も途中であがり持参した傘をさす事もなく、無事に帰って来ました。

みなさまお疲れ様でした。

（寄稿者・福船 内村弘）



馬路温泉前で記念撮影「ハイ・チーズ」